

新たな介護現場の担い手 介護アシスタント

介護事業所で働いている人の離職率は高く、担い手不足などの問題から介護に従事する人の負担が大きいのが現状です。

そこで、町では今年度より「介護アシスタント」の育成や事業所とのマッチングを行う取り組みを始めました。介護や認知症について学び、利用者との会話やちょっとしたお手伝いなどを行う介護アシスタントの活動は、介護の担い手不足の解消や介護従事者の負担軽減にもつながります。活動は、年齢に限らず、健康づくりや介護予防、セカンドライフの生きがいとなります。

町地域包括支援センターでは、介護アシスタントの育成や介護事業所と結ぶ支援を行う「就労的活動支援コーディネーター」を配置しています。今回、介護現場における新たな担い手である介護アシスタントの活動について紹介します。



介護アシスタントを経験したお二人にインタビュー

町社会福祉協議会デイサービスで活躍する60代男性

引退しても活躍できる場所がある

大きな病気を患い、地域にわずかでも恩返ししたいと思い、町地域包括支援センターの介護予防サポーター養成講座を受講しました。週に1回2時間程度、仕事の合間に活動しています。お風呂上りの利用者さんの髪を乾かしたり、お茶の配膳をしながら利用者さんとお話しています。「挑戦し続けることが若さの秘訣」。年齢ではなく、得意な分野で楽しんで活動してくれる人が増えて欲しいです。

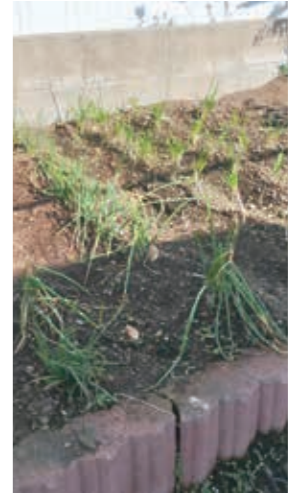


利用者とお話する中野 英二さん

デイサービス花風香で活躍する80代男性

経験を生かして嬉しい

活動は、週に1回。デイサービスで食事やお茶の配膳や下膳、食器洗いをしています。また、施設の使われていない花壇を家庭菜園として復活させました。妻と二人三脚で農家を営みながら子どもを育てた経験を生かし、活動を行っています。「ありがとう」と言われると誰かの役に立てていると感じます。ボランティアに行っていることを孫に話すと喜んでくれるので、活動の日が待ち遠しいです。



整備した家庭菜園

介護アシスタントを受け入れた施設職員の声



デイサービス花風香
西村 篤司さん

介護する側もされる側も「楽しく」がモットーです。初めて介護アシスタントに来ていただき、笑顔で活動されています。利用者はもちろん、職員も来ていただく日を楽しみにしていることが何よりの効果です。

私が「介護アシスタント」として 介護事業所をつなぎます

働けるうちは働きたいという人が多く一方で、介護現場の深刻な担い手不足は大津町においても例外ではありません。そこで地域や介護現場で活躍したい高齢者に「健康増進・介護予防・社会参加」という観点から「介護アシスタント」の取り組みを始めました。それによって介護の専門職は専門的な支援に注力することができ、「介護サービスの質の向上」につながります。

先日、「孫を迎える人生100年時代 健康再発見セミナー」で、今年度の目標を参加者と一緒に考えました。「気づかないところで、地域参加、社会参加していることを知りました。今後どんどん参加を増やしていきたいです」「今後の生き方へのヒントをいただいたと思います」といつまでも活躍したい若々しいお声をいただきました。活躍したいと思われたら、ぜひ町地域包括支援センターまでご連絡お待ちしております。



就労的活動支援
コーディネーター
山内 強

介護アシスタント説明会を開催します

今回、紹介したお二人のように、介護アシスタントに関する活動内容について説明会を開催します。皆さんの力が必要です。ぜひ、ご家族やご友人を誘ってご参加ください。

- 日時 3月22日(火)
午前10時30分から正午まで(予定)
 - 場所 役場1階多目的室
 - 申込期限 3月14日(月)
 - 定員 20人(定員に達し次第、受付終了)
 - その他 年齢不問
- ※新型コロナウイルス感染症の拡大防止の為、中止となる場合がありますのでご了承ください。

申込専用フォーム
はこちら▼



●申し込み
町地域包括支援センターにお問い合わせいただくか、申込専用フォームからお申し込みください。

フットケア教室に参加した 安永さん夫婦にインタビュー

●教室を知ったきっかけは大津町が発信しているLINEでした。お互いに健康で長生きしたい気持ちから夫を誘い、参加しました。2人で参加することで、教室で習ったことを家でも実践してみようと、声掛けができるんです。教室に通い、足の裏がきれいになったので嬉しかったです。(すづこさん)

●仕事をしている時は、教室に参加できなかったのですが、退職後は時間に余裕ができ、妻の誘いもあり参加しました。足のケアは知らないことばかりで勉強になります。自宅でできる体操の宿題が出た時、妻と確認しながらできるので良かったです。(鉄也さん)

フットケア教室のご紹介
町地域包括支援センターでは、筋力低下やバランス能力低下による転倒を予防するために、足のケアを目的とした「フットケア教室」を開催しています。今年の教室は、6月、10月を予定しています。詳細は決まり次第、第1報おぼろげでお知らせします。今回、この教室に参加した安永さんご夫婦に話を聞きました。



ほりだし健康教室のご紹介
運動、食事、口腔のことなどを各専門職から学び、実践します。

- 対象 町内在住、65歳以上
- 開催日 毎週木曜日(全16回)
- 場所 老人福祉センター(送迎あり)
- 申込期限 3月31日(木)

＜こんな人におすすめ＞

- 最近、運動不足を感じる
- 人と会話する機会や時間が減った
- 今の健康や生活スタイルを維持したい

※申し込みは町地域包括支援センターまでお願いします。教室の詳細についても気軽に尋ねてください。



問い合わせ

町地域包括支援センター (役場1階 介護保険課内)

●開庁
月曜日～金曜日(祝日・年末年始を除く)
午前8時30分～午後5時15分

☎ 096(292)0770
FAX 096(292)1234



町地域包括支援センターは役場1階です

生きがいをもって
健康で安心して暮らせる
まちを目指そう

町地域包括支援センターでは、ケアマネジャーや看護師などの専門職が皆さんのご相談に対応しています。健康や介護の相談をはじめ、地域での活動「通いの場」の支援も行っています。悩みごとや困りごと、活動に参加したい・協力したいなど、ぜひ一度ご相談ください。